

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：林業振興費

事業名 恵みの森づくりコンソーシアム推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林活用推進課 緑化推進係 電話番号：058-272-8255

E-mail：c11513@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 583 千円 (前年度予算額：583 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	583	0	0	0	0	0	0	0	583
要求額	583	0	0	0	0	0	0	0	583
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

平成23年度の「全国植樹祭5周年記念大会 (H23.5.21)」において、今後5年間の森林づくりの方針として、新たに「環境保全を重視した新たな森林づくり」を打ち出し、同方針に取り組む民間主導・県民協働の組織である「恵みの森づくりコンソーシアム」が設立された。

林業ではカバーされない里山・奥山林の持続的な保全と森林資源の活用を模索し、実践につなげるための同組織の会員募集のためのPR活動等を推進する。

(2) 事業内容

- ・ 恵みの森づくりコンソーシアム推進事務費
- 恵みの森づくりコンソーシアムの運営、取組みのPR、会員募集

(3) 県負担・補助率の考え方

県民との協働による森林づくり推進のための経費であるため、県負担とする。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	172	業務旅費（県内、県外でのイベントや打合せ）
需用費	209	イベント出展経費、事務用品等
役員費	144	電話代及び郵送等
使用料	53	会議室等借り上げ
負担金	5	イベント参加費
合計	583	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第4期岐阜県森林づくり基本計画

1 森林づくりの推進

(1) 災害に強い循環型の森林づくり

(ウ) 森林経営管理法に基づく市町村による森林管理の支援

(d) 森林づくりの多様な担い手の育成と支援

(2) 国・他県の状況

無

(3) 後年度の財政負担

毎年同額程度の財政負担が必要。

(4) 事業主体及びその妥当性

県が事務局を担う

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

恵みの森づくりコンソーシアムを中心に、企業、NPO等からの提案を取り入れ、森林の持つ多様な価値を活用した森林づくり活動を実施する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①会員活動回数	7	9	8	9	10	90%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	勉強会等を開催することにより、会員の知見向上及び相互間交流が図られた。 ・勉強会の開催（2回） ・作業部会の開催（5回）
	指標① 目標：7 実績：7 達成率：100%
令和3年度	勉強会等を開催することにより、会員の知見向上及び相互間交流が図られた。 ・勉強会の開催（3回） ・作業部会の開催（6回）
	指標① 目標：8 実績：9 達成率：113%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 2	恵みの森づくりコンソーシアム事務局である県が主体的に活動PRや会員募集等を行う必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	会員による情報交換の場となっている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 1	オンラインによる作業部会を行い、経費の削減を図っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 会員数が減少傾向にあるため、活動を活発化し、取組みをPRする必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 継続的に勉強会等を実施することにより、会員の知見の向上及び交流促進を図る。また、イベントを活用して積極的に活動のPRを行う。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】